

別紙 2

基本調査票

本調査票は、貴事業所の基本的な概要について記載していただくものです。

本調査票の記入日： 令和 5 年 11 月 27 日

設置・運営主体	上尾市		
設置主体	上尾市		
経営主体	上尾市		
事業所名 (施設名)	上尾市立上尾西保育所	種別	保育所
所在地	〒 362-0074 埼玉県上尾市春日 2-20-3		
電 話	048-772-3544		
FAX	048-772-6511		
Email	s173600@city.ageo.lg.jp		
URL			
施設長氏名	横沢 純子		
調査対応担当者	横沢 純子 (所属、職名：上尾西保育所 所長)		
利用定員	120 名	開設年	平成 14 年 2 月 1 日
理念・基本方針			
<p>理念</p> <ul style="list-style-type: none"> ・すべての児童が心身ともに健やかに育成されるよう努める。 ・すべての児童の生活をひとしく保障し愛護する。 ・保護者ととともに、すべての児童を心身ともに健やかに育成する。 <p>基本方針</p> <ol style="list-style-type: none"> ①乳幼児期は生涯にわたる人間形成の基礎を培う時期であり、人として生きる力を養う。 ②子どもが健康、安全で、情緒の安定した生活ができる環境を用意し、自己を十分に発揮しながら活動することにより、健全な心身の発達を図る。 ③養護と教育が一体となって、豊かな人間性を持った子どもを育成する。 ④保護者と密接な関係を取り、保育の内容等が保護者の理解と協力が得られるよう努め、子どもの最善の利益を考慮し、子どもの福祉を重視した保護者支援を行う。 ⑤地域における子育て支援のために、乳幼児期などの保育に関する相談に応じ、助言するなどの社会的役割を果たす。 			
開所時間 (通所施設のみ)	平日 7:00~19:00 土曜日 7:00~18:00		

【利用者の状況に関する事項】

○保育所の場合（通常保育）

	定員	利用児童数	クラス数	1クラスあたり 平均児童数	1クラスあたり 平均保育士数
0歳児	9	9	1		3
1歳児	15	15	1		3
2歳児	18	18	1		3
3歳児	23	25	1		3
4歳児	25	23	1		3
5歳児	30	25	1		2
計	120	115	6	—	—

(注) 1クラスあたり平均児童数は2クラス以上ある場合に記載。非常勤保育士等については常勤換算で計算。異年齢児クラスはその区分ごとに記載。

【職員の状況に関する事項】

○保育所の場合

常勤職員数		15人	
うち	保育士	13人	保健師・看護師 人
	栄養士・調理員	2人	その他() 人
非常勤職員数		7人 (常勤換算 人)	
うち	保育士	5人 (常勤換算	人)
	保健師・看護師	人 (常勤換算	人)
	栄養士・調理員	2人 (常勤換算	人)
	その他()	人 (常勤換算	人)
(注) 常勤換算計算式 非常勤職員：それぞれの週あたりの勤務延時間数の総数÷当該保育所の常勤職員が勤務すべき時間数。栄養士・調理員：調理業務を委託している場合には「委託」と記載。			
(2) 前年度採用・退職の状況	採用	常勤： 1人	非常勤： 人
	退職	常勤： 人	非常勤： 人
(3) 常勤職員（うち保育士・保健師・看護師）の平均年齢		40.3 歳 (37.5 歳)	
(4) 常勤職員（うち保育士・保健師・看護師）の平均在職年数		15.3 年 (13.5 年)	
(注) 現在の保育所での在職年数。ただし、同一の運営主体(法人・自治体)内の児童福祉施設間の異動は通算可(公営の場合には保育主管課在職期間も通算可)。小数点以下第二位を四捨五入。			

【本来事業に併設して行っている事業】

(保育所の場合)

事業名	実施の有無	利用料
乳児保育	○	—
延長保育	○	朝 7:00～7:29 夕 18:31～19:00 月額2000円 1回利用100円
休日保育		
障害児保育	○	—
一時保育	○	3歳未満児 半日1,000円・1日2,000円 3歳以上児 AM750円 PM650円 1日1,500円
地域子育て支援センター		
乳幼児健康支援一時預かり事業(病後児保育)		
アレルギー等対応給食	○	—
その他(事業名:)		
(注) 実施事業には有無欄に○を付し、利用料を記載する。自主事業も含む。		

【ボランティア等の受け入れに関する事項】

・令和 4年度におけるボランティアの受け入れ数(延べ人数)

4人

・ボランティアの業務

・保育所での保育補助(子どもと遊ぶ、おむつ交換、着替えの補助、給食準備・片付け・清掃、寝かしつけなど)

【実習生の受け入れ】

・平成 4年度における実習生の受け入れ数(実数)

社会福祉士 人

介護福祉士 人

その他 10人

【施設の状況に関する事項】

※耐火・耐震構造は新耐震設計基準(昭和56年)に基づいて記入。

○保育所の場合

(1) 建物面積 (保育所分)	735.13 m ²
	児童1人あたり 6.13 m ² (計算式: 建物延べ床面積合計÷定員)
(2) 園庭面積	1271.97 m ²
	児童1人あたり 10.6 m ² (計算式: 園庭面積合計÷定員)
(3) 耐火・耐震構造	耐火 <input checked="" type="checkbox"/> 1. はい <input type="checkbox"/> 2. いいえ
	耐震 <input checked="" type="checkbox"/> 1. はい <input type="checkbox"/> 2. いいえ
(4) 建築(含大改築)年	平成 14年

【サービス利用者からの意見等の聴取について】

貴施設（事業所）において、提供しているサービスに対する利用者からの意見を聞くためにどのような取り組みをされていますか。具体的にご記入ください。

- ・送迎時に声掛けし、日々の保育や行事などに対する質問や意見に対応している。
- ・連絡帳機能を使用し、日々の保育の様子や子どもの姿を伝えながら、保育所への質問があった時には返信または直接声掛けするなどしている。
- ・保護者が参加した行事では、終了後に配信機能を利用して保護者アンケートをとり、意見や感想を頂いている。
- ・クラス懇談会を実施し、日々の子どもの様子を伝えるとともに子どもたちの成長を保護者と共有しながら感想や悩み等を聞き、意見交換ができる場を設けている。
- また、個別懇談を行い、子どもの成長の悩みや相談などを聞き、保育所での様子も丁寧に伝えている。
- ・保育報告会では、写真や動画等を使用し保護者に見てもらう機会を持ち1年間の子どもの育ちを共有している。
- ・保育所への意見箱を設置しており、一月ごとに確認をしている。

【その他特記事項】

貴施設（事業所）の特徴的な取り組み等について具体的にご記入ください。

- ・保育所の隣の畑で年長児が中心となり野菜などの栽培を行っている。自分たちで種を撒いたり苗を植えたりして、水やりや草むしりなど面倒を見ている。育っていく姿を観察し、収穫したものを給食等に出してもらい、育てることや収穫することそれを食べる事の喜びを経験することができている。また、以上児クラスでプランター栽培も行っており、年齢に合わせて何を育てるか検討し、野菜や花などの栽培と収穫の経験をしている。
- ・園庭では裸足で過ごすもおり、自然と水や砂、泥あそびなどを行っている。異年齢が一緒になり、砂場に大きな山を作りトンネルを掘ったり、川を作って水を流したり、土を使って泥団子作りをしたり保育士も一緒に裸足になって遊んでいる。
- ・一時預かり事業も行っており、市内在住の満1歳から小学校就学前の健康なお子さんを利用の条件に合わせてお預かりしている。
- ・園庭開放や保育所であそぼうなどの子育て支援事業の他に、子育て支援センターと年2回「もっこ広場」という地域のお子さんや保護者の方と一緒に過ごす機会を持っている。
- 普段保育所で行っているリズムを一緒に行い身体を動かしたり、年長児が行事で取り組んだソーラン節を披露したり、一緒に大きな太鼓をたたいてみたりと開催に時期に合わせた内容で交流を図り、地域の方にも保育所への取り組みの参加と理解を頂く機会を持っている。

【第三者評価の受審状況】

- ・受審回数（前回の受審時期）

3 回 （平成 29 年度）